

平成 19 年 8 月 13 日

各 位

上場会社名 株式会社 安 楽 亭
代表者名 代表取締役社長 柳 時 機
(コード番号 7562 東証第二部)
問合せ先 取締役総務人事部長 安部 一夫
(TEL 048-859-0555)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 25 日の決算発表時に公表いたしました平成 20 年 3 月期 (自平成 19 年 4 月 1 日至平成 20 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (自平成 19 年 4 月 1 日～至平成 19 年 9 月 30 日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (平成 19 年 5 月 25 日発表)	12,900	440	210	270
今 回 修 正 予 想	12,250	210	15	165
増 減 額	△650	△230	△195	△105
増 減 率 (%)	△5.0	△52.3	△92.9	△38.9
前 年 中 間 実 績 (平成 19 年 3 月期中間)	13,743	485	94	△101

(個別)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (平成 19 年 5 月 25 日発表)	11,300	300	155	230
今 回 修 正 予 想	10,800	200	60	160
増 減 額	△500	△100	△95	△70
増 減 率 (%)	△4.4	△33.3	△61.3	△30.4
前 年 中 間 実 績 (平成 19 年 3 月期中間)	12,157	444	117	△121

2. 当中間期 業績予想数値の修正理由

当中間期の見通しにつきましては、景気は国内外の懸念材料を抱えつつも、堅調に回復を続けるものと予想されます。しかしながら、当社グループの主力事業である焼肉事業は、米国BSEのダメージから立ち直ったとは言い難く、米国産牛肉の輸入再開により仕入価格の低下、牛肉不足の解消といった期待感がありますが、まだ輸入量が少ないことなどから原価率が計画通りには低下いたしませんでした。また、外食支出の伸び悩みや消費者の牛肉全体への不安等もあり、未だ当社の業績回復が本格化したとは言えない状

況にあり、売上及び利益とも当初予想を下回る見込みとなりました。

この様な厳しい環境変化に対応するために、当社グループは現在、収益構造の改革・改善を図るべく全社をあげて取り組んでおります。しかし、焼肉市場の本格的な需要回復には、まだ慎重な見極めが必要な状況と判断いたします。

3. 平成 20 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (自平成 19 年 4 月 1 日～至平成 20 年 3 月 31 日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (平成 19 年 5 月 25 日発表)	25,600	890	430	340
今 回 修 正 予 想	24,100	560	165	290
増 減 額	△1,500	△330	△265	△50
増 減 率 (%)	△5.9	△37.1	△61.6	△14.7
前 年 実 績 (平成 19 年 3 月期)	26,306	863	25	428

(個別)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (平成 19 年 5 月 25 日発表)	22,500	650	350	300
今 回 修 正 予 想	21,100	540	260	280
増 減 額	△1,400	△110	△90	△20
増 減 率 (%)	△6.2	△16.9	△25.7	△6.7
前 年 実 績 (平成 19 年 3 月期)	23,233	758	41	378

4. 通期 業績予想数値の修正理由

米国産牛肉の輸入が再開されて、7月27日でちょうど1年が経過いたしました。当社におきましても、6月29日より一部店舗で取り扱いを再開しております。現在多くの消費者は米国産牛肉に抵抗感が無くなってきておりますが、牛肉の需要量はまだBSE発生以前に比べ3割近く減少したままであり、また米国産牛肉は「20ヶ月齢以下」に限定された輸入条件のため日本向け供給が思うように増加せず、価格も高値で推移しております。現況では、米国産牛肉の輸入条件が「月齢30ヶ月未満かつ危険部位の除去」に緩和される公算が大きくなってまいりましたが、焼肉市場の本格的な需要回復には、まだ慎重な見極めが必要な状況であり、また、現時点で予想が難しいこともあり、当中間期業績予想の修正金額をベースに、通期についても業績予想数値を修正するものであります。

(注) 業績の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と大きく異なる場合があります。

以上